会議録(要旨)

会議名	令和4年度当事者会 4月定例会	文責	障がい福祉室
日時	令和4年4月21日 午後2時～4時	場所	総合福祉会館 第3会議室

当事者会の運営について

1 会長・副会長の選任

・会長1名・副会長2名を選任

2 障がい福祉室からの報告・提案

(1)地域自立支援協議会設置要領及び運営マニュアルについて

・第2条(所管事項)に、「(4)障がい福祉サービス事業所の運営及び活動等に関すること」を追記。

・第6条(全体会議)を、「第3条第2号から第5号に掲げる組織から報告を受け、必要に応じて吹田市社会福祉審議会障がい者施策推進専門分科会と情報の共有等連携を図る。」に変更。

・第10条(当事者会)に、「(3)障がいに関する理解啓発の取組を行う。」を追記

※当事者会の役割は、地域の当事者の代表として、地域との繋がりをもってほしい。

(2)今回の公募について

【事務局からの提案】

・公募委員の選定は10名としたが、令和4年3月に開催された吹田市地域自立支援協議会全体会において、応募者14名全てを選定すべきであるとの意見があった。

・当事者会の委員任期は通常2年だが、令和4年度からの委員に限っては、前任委員の任期途中での交代となるため、任期は3年としている。これらの事情から、通常よりも委員への負荷は大きくなり、欠席委員が増える可能性も考慮した方がいいとの意見もある。

・以上を踏まえ、検討を重ねた結果、14名を当事者会委員とすることを提案したい。

【結論】

・応募者14名全員を委員とする

・追加で選定された4名の方については、今回の判断に至った経緯を報告した上で、就任を承諾いただける

かの意向確認を行う。

・次回会議からは、就任を承諾いただいた方も含めて、当事者会運営を行う。

4 今年度の運営方法の検討・意見交換

・地域会議について、運営マニュアルを参照し説明

・当事者会のあり方について協議

【会長】

・これまでの当事者会について、実施してきた活動等について報告

当事者会を知る・伝える・学ぶを3本柱に6年間活動した。

活動内容は、当事者の交流の機会「しゃべり場」、障がい理解・啓発「出前講座」・「事例集」の作成。

・今後の当事者会については、要領の規定に基づき、地域会議・専門部会と連携を図る、障がい者のネットワークの構築、障がい理解・啓発について取り組む。

- ・当事者会が当事者の声を届ける役割を担う。

【委員の意見】

- ・地域自立支援協議会運営マニュアルの当事者会の目的において、当事者が地域の障がい者と繋がることは、現実的に難しいと感じる。
- ・行政は重度障がいの人を把握しているのであれば、行政が軸となって動く方が効率的ではないか。日々の生活やサービス利用において、当事者・家族と行政の問題となっており、孤立傾向がある。
- ・地域会議等で、当事者としてアドバイスできることが多分にあると考える。
- ・声を上げられない人達の声をもの様に拾いあげるシステムを作るか考えていく。
- ・事例を出して、仕組み作りを考えていく必要がある。
- ・今の時代にあった情報保障が必要である。

【事務局】

- ・ネットワーク作りのアイデアを出して検討していく。
- ・当事者会と行政で構築するものと考えている。
- ・行政も障がい者の状況を全数把握しているものではない。

【決定事項】

- ・会長 1 名 副会長 2 名の選任
- ・当事者会は応募者すべてを選定し、就任する。
- ・当事者会は、月 1 回定例会を開催することとし、状況に応じてオンライン形式も検討する。
- ・定例会は、第 3 木曜日 13 時 30 分から 15 時 30 分を基本とする。
- ・欠席の場合は、会議録を見せよう。
- ・会議の議題は、会長・副会長が事務局と調整しまとめ、委員に共有する。
- ・議題は、会長の意志のみで決まるものではない。
- ・会長・副会長は会の進行を担う。
- ・事務局がレジユメを作成し、テキスト形式で委員に送る。
- ・会議の記録は、事務局が行う。